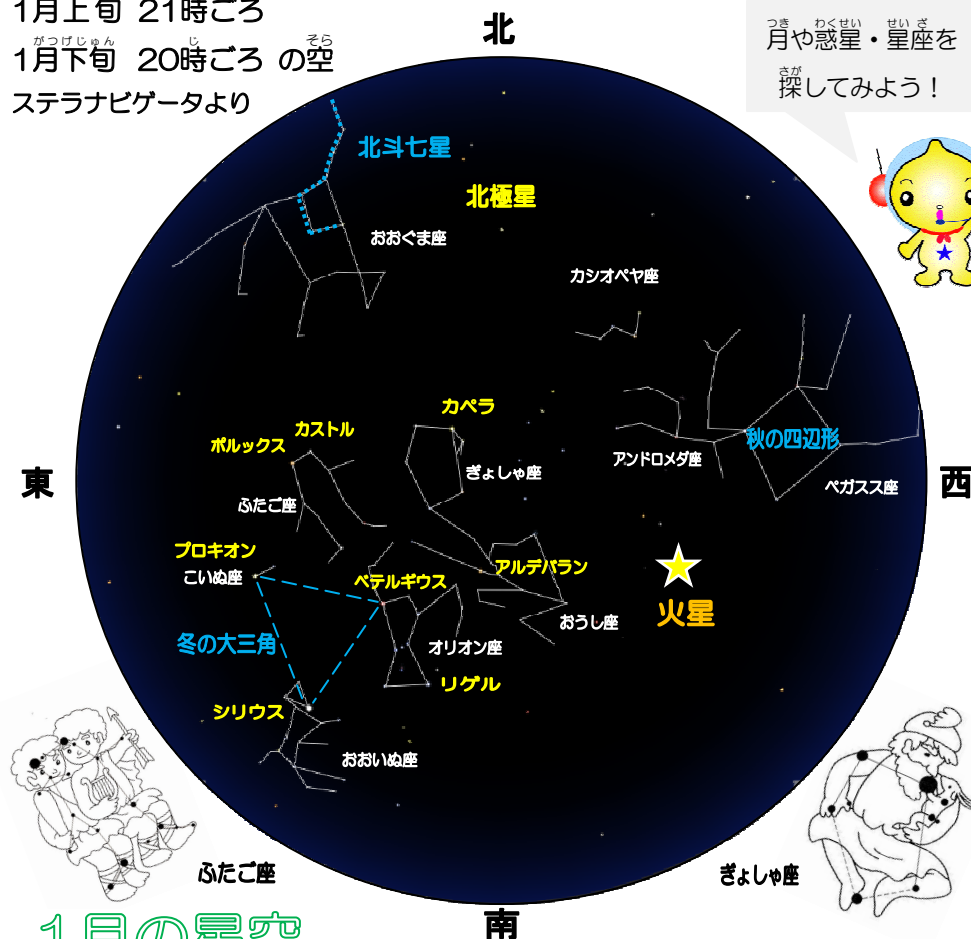


月刊★星空の散歩道1月号

2021年

1月上旬 21時ごろ
1月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータより

月や惑星・星座を
さがしてみよう！



1月の星空

★宵空の主な星座と明るい星★

西の空に秋の星座が見え、南と東の空に冬の星座が見える。

- < 西 > ペガスス座、アンドロメダ座
- < 天頂 > ぎょしゃ座 (カペラ)、おうし座 (アルデバラン)
- < 南 > オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)、おおいて座 (シリウス)
- < 東 > ふたご座 (カストル、ポルクス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 北 > 北極星、カシオペア座、おおぐま座

★天文トピック★

1月 4日 しぶんぎ座流星群が極大

4日の夜明け前がみつけやすいと予想されますが、今年は月明かりがあるため、例年よりも難しいでしょう。1年で最初の流星群なので、運試しには良いかもしれませんね。

1月21日 月と火星がならぶ

半月のそばに輝く赤っぽい星は火星です。夜中には月とともに沈んでいきます。

1月24日 水星が東方最大離隔

この日の前後2、3日は、普段よりも探しやすいです。しかし、とても低いところなので、日没後、双眼鏡などを用いて、西の地平線が見えるくらい開けた場所で探してみましょう。

★月の形の変化★

1月 6日	下弦	
1月 13日	新月	
1月 21日	上弦	
1月 29日	満月	

★1月の惑星★

水星…夕方、西の空低く
(下旬)

金星…明け方、東の空低く
火星…宵、南西の空

<天文コラム>「行ってきます！」～はやぶさ2、次のミッションへ～

小惑星探査機「はやぶさ2」は、6年の長旅の末、2020年12月6日に小惑星「リュウグウ」の砂が入った「カプセル」を地球に届けてくれました。(詳しくはレギュラー投影「はやぶさ2 ～リュウグウへの冒険～」にて。)現在「はやぶさ2」は新たな目標を目指して再び地球から遠ざかりつつあります。

行先は、直径およそ30mと予想されている小惑星「1998KY26」。到着は10年後の2031年夏頃の予定です。その間、「はやぶさ2」は宇宙空間にある小さなチリがどこに多くあるのか調べながら向かいます。地球からは詳しく調査するのが難しいのですが、宇宙の様々な場所から観測を行うことで、より正確な位置がわかるのです。

ほかにも、カメラなどの電子機器が宇宙空間でどれくらいの年月、使用できるかなど様々な研究を行います。「宇宙」という地球とは違う特殊な環境で、長い間、旅をする「はやぶさ2」だからこそできるミッションなのです。

